

# 元気な仲間

広島医療生協 安東支部

2026年3月号

安東1～7丁目・筒瀬

組合員数 1344 人、班数 7 班

理事 初本 ☎872-4866

支部長 福本 ☎872-5879

健まちセンター 今岡 ☎879-8124



お困りごとはこちらまで！

## 健康カフェ「安佐南区の災害の備え」

3月27日（金）午前10時～ 弘徳第2自治会館

地球環境の変化で、近年災害は増える傾向にあります。一般的な災害の備えとともに、自分が住んでいる地域の災害対策についても、具体的に知っておくことが、被害を最小限に食い止めるために必要です。

安佐南区地域起こし推進課の職員を講師に招いて、区内の災害リスク、避難行動、非常持ち出し、家庭内備蓄など伺います。

また、皆さんの心配は、高齢者ら避難行動要支援者にどのような支援が受けられるか、ペットを飼っておられる方は、一緒に避難所に行けるか、などいろいろあると思います。聞きたいことも身近に聞けるよい機会だと思います。ぜひお越しください。

健康チェックや体操もありますので、**健康手帳**や**いきいきポイント手帳**をお持ちの方はご持参ください。参加費100円（茶菓子代）。

※送迎希望の方は役員または健まちセンターまでご連絡ください。



## 3月の季節の言葉「菜種梅雨」「催花雨」

今年の冬の広島市は少雨でした。2月下旬からようやくまとまった雨が降り始め、菜種梅雨で少し潤うだろうという予報がありました。

「菜種梅雨」は、春の時期のまとまった雨、小規模な梅雨といったイメージですが、別名「催花雨」といいます。桜をはじめ、春に咲く花々の開花を促す、という美しい日本語ですが、最近あまり聞かれなくなりました。菜種も生活の大事な資源で、どちらも「雨を歓迎する」ニュアンスが感じられます。

雨の日を「天気が悪い」快晴になれば「好天に恵まれ」などといいます。実は日本人は昔から雨に親しみ、雨のありがたさを感じながら暮らしてきたんだと、実感します。

